

SPECIAL INTERVIEW

世界最大の総合オンライン旅行会社「エクスペディア」で働く“旅の先輩”に直撃インタビュー。
世界中の人々に「旅」を提供する荒畑さんから見た、「旅」の魅力やおもしろさについて伺いました。



想像よりも100倍楽しい！
そんな旅を提供し続けたい

Expedia
アソシエイト
マーケットマネージャー

荒畑 聡さん

隠れた日本の魅力を開拓し、「観光立国」に貢献したい

エクスペディアの宿泊部署で、アソシエイトマーケットマネージャーとして働いています。エクスペディアは、インターネットを通じて世界中のお客様に航空券や宿泊先、オプションツアーなどを提供している会社です。私の仕事はホテルや旅館などの宿泊施設をまわって、自社で販売させていただくために契約を結ぶというもの。また、自治体の方と協力しながら、地域の魅力をPRすることも任務の一つです。どのような打ち出し方が効果

的か、試行錯誤を重ねながら、世界中のお客様に魅力的な観光情報を発信しています。

エクスペディアの特長としてまず挙げられるのは、“サービスの豊富さ”です。宿泊予約だけでなく航空券やパークチケット、クルーズチケットの販売も行っていて、お客様のニーズに合わせてそれらを自在に一つのパッケージにすることができんです。またエクスペディアは、Hotels.comやtrivagoなど、ターゲットに

特化したいくつものブランドサイトを抱えているので、これらを活用した拡散性と利便性が、世界一の総合オンライン旅行会社になれた理由だと思います。

日本のインバウンドビジネスは、まだまだ未開拓の状態。特に地方の観光産業は、成長要素がたくさん残っています。円安の影響もあって、昨年は約2,000万人もの外国人観光客が日本を訪れました。私たちとしてはこの追い風をうけて、未だに知られてい

ない日本の魅力をもっと多くの方に広めたい。そして、日本政府の目指す「観光立国」に貢献したいと思っています。



旅で得たものはすべて財産。必ず未来の自信につながる

父の仕事の都合で、9歳の時に家族でニューヨークへ移住して、大学を卒業するまでの青春時代を、アメリカとイギリスで過ごしました。私自身「旅」が大好きで、家族旅行含めあらゆる場所に旅をしましたが、最も印象に残っているのは大学時代のアメリカ横断旅行です。高校の同窓会で集まった男友達と、再会した当日に出発！(笑)。4ヶ月かけて、車でボストンからロサンゼルスへ向かいました。絶景が広がる国立公園で雄大な自然に触れたり、ラスベガスで飲み過ぎてボロボロになったりと、色んな思い出ができたのですが、一番に残っている場所を挙げるとしたら、カリフォルニアで見た風力発電基地です。だっ広い砂漠地帯のような場所に、何百基もの風車がズラッと立ち並んでいて。どれだけ車で走っても、その光景がずっと続いているんですよ。あれは忘れられないですね。

世界各地を旅する中で機会があるごとに、各地のユースホステルを利用してきました。私のお気に入り、オランダ・アムステルダムにあるユースホステル、Stayokay Amsterdam Vondelparkです。古きよき街並みになじむ、風情ある佇まいが魅力的でした。アムステルダムの中心地にあって、美術を勉強しに来る人もいれば、好きなサッカーチームを追いかけて来たという人など、世界中の人たちがさまざまな目的で来ていました。ユースホステルには交流を求めて来る人が多いように感じます。予定がない日でも、座っていると必ず誰かが声をかけてくれるからすぐに溶け込めました。そこで出会った人たちと観光したのもいい思い出です。

振り返って改めて思うのは、旅で得たものはすべて「かけがえない財産」に変わる、ということ。「単なる思い出」で終わるのではなく、未来への自信に



Stayokay Amsterdam Vondelpark

もつながります。若い世代の方たちにメッセージを送るとするならば、「旅は自分の想像よりも100倍楽しい」ということ。仮に旅がイメージ通りにしかできないものだったとしたら、旅行産業はここまで発展していません。想像を超える楽しみや満足感をお届けするために、エクスペディアのようなサイトやユースホステルが存在すると思うのです。

そして、インターネットをどんどん活用していただきたい。今でこそ宿の予約もネットで簡単にできますが、昔は地図を見ながら宿泊先に電話をかけて、金額を聞いて…とすごく大変だったんです。現代は観光情報も検索ひとつでたくさん出てくるし、遠い国へ旅に出る際も、ネットで事前に下調べができる。活用しない手はないです。それに加え、日本のパスポートってビザなしで153ヶ国に入国できるんですよ。これは、先人の日本人旅行者が海外で良い評価を残してきた証です。この現状を受け継いでいくためにも、若い世代の方たちには日本人であることに誇りを持って、積極的に海外に出ていただきたい。これが私の大きな願いですね。



アメリカ横断時



ガラパゴス諸島



海外で暮らしているときに使っていたユースホステル会員証と国際青年証

Memory of Travel

最近の旅行では、近場ですが妻と一緒に韓国・ソウルへ。エクスペディアの元同僚がソウル市内にホテルを開業することになり、そのお祝いに招待してもらいました。国内旅行より短時間で行くこともできる韓国ですが、実際に行ってみると日本との違いを肌で実感。海外旅行に抵抗がある方でも手軽に行ける距離ですし、慣れ親しんだ環境から足を伸ばしたいという人にはおすすめです。

